(別紙4(2))

認知症対応型共同生活介護事業所

事業所名: サンホーム新谷

作成日: 平成 31年 3月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		運営推進会議はホームの取り組み内容を外部の方に知っていただく機会となっている。家族の理解や周知に向けて、例えば会議での質疑応答の報告を行うなど今後の取り組みに期待したい。また、職員にも内容を周知し取り組むことが望まれる。	当ホームでの取り組み内容について、運営推 進会議での会議録を掲示し御家族の理解や御 家族・職員への会議内容の周知を行っていく。	会議録ファイルを、いつでも閲覧できるように玄関に 設置を行っていく。また、職員が会議での内容を共 有・把握できるよう全職員へ会議録の配布を行ってい く。	2ヶ月
2	20	新たに把握した入居者の情報について、ホームでは職員間で口頭にて伝達されている。全ての職員で情報を共有できるよう、例えば申し送りノートに記録するなど今後の取り組みに期待したい。	入居者様の情報について全職員での共有を徹底し、統一したケアを行っていく。	ケアプラン会議にて入居者様の新しく知り得た情報について検討し、状況によってはケアプラン内容に反映させ、会議録に掲載し職員の情報共有を行っていく。	2ヶ月
3	33	現在の看取り指針に、終末期に際して継続した医療的行為が可能と思われる文言が窺えたため、 ホームの現状に沿った指針の見直しが望まれる。	看取り指針について当ホームの現状に合わせ た指針見直しを行い整備を行っていく。	看取り指針の栄養・水分補給の説明記述にて、点滴等による最低限の水分補給等を行う場合があるとしてあるが、施設の看護師の不在により点滴等が困難な為、施設での現状に沿った指針の見直しを行っていく。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。